

# 警城時報

石城縣議選 警城時報社 印刷部 電話 八八八 八八九 八九〇 八九一 八九二 八九三 八九四 八九五 八九六 八九七 八九八 八九九 九〇〇 九〇一 九〇二 九〇三 九〇四 九〇五 九〇六 九〇七 九〇八 九〇九 九一〇 九一一 九一二 九一三 九一四 九一五 九一六 九一七 九一八 九一九 九二〇 九二一 九二二 九二三 九二四 九二五 九二六 九二七 九二八 九二九 九三〇 九三一 九三二 九三三 九三四 九三五 九三六 九三七 九三八 九三九 九四〇 九四一 九四二 九四三 九四四 九四五 九四六 九四七 九四八 九四九 九五〇 九五二 九五三 九五四 九五五 九五六 九五七 九五八 九五九 九六〇 九六一 九六二 九六三 九六四 九六五 九六六 九六七 九六八 九六九 九七〇 九七一 九七二 九七三 九七四 九七五 九七六 九七七 九七八 九七九 九八〇 九八一 九八二 九八三 九八四 九八五 九八六 九八七 九八八 九八九 九九〇 九九一 九九二 九九三 九九四 九九五 九九六 九九七 九九八 九九九 一〇〇〇

## 石城の縣議選

### 「當落の分岐點は 清き一票の行使による」

#### 危険に傾いた山崎氏のために 有志が依頼状

山崎吉平氏は立候補以來殆んど勢力挽回運動を開始し、左の不眠不休で言論戦に或は文書戦に依り頼りて奮闘したが、四圍の猛烈な攻撃に遂に危険を傳へらるゝに至つた事昨報の通りであるが、山崎氏は從來地方のため献身的に努力し來つた歴史を持つてゐるものと、その人物が全く恬淡で政治家が往々にして陥り易い策士肌の處が毫末もその性格に持つてゐないもので地方の心ある人々は何れも此に敬服追慕してゐる状態であるため、一度山崎氏危険を傳へらるゝや、平銀行頭取山崎與三郎氏等を筆頭として、同氏を落選せしめては同志の面目にかかるとなし数日來依頼状或は推薦状等を發送し猛烈な而も悲壯な情に依り當選せしめらるゝ様願ひをします。

昭和二年九月

### 古川氏の應援者も 檄文を飛ばす

郡南古川傳一氏は菊田方部といふ形勢刻々逆轉の模様であつたが、昨今に至つては黨派の外に力強い背景を持つてゐるため、郡南に目を付ける候補者頗る多し、古川氏は全く苦境に陥つて來り、古川氏の應援者も檄文を飛ばす。

### 青沼氏推薦状

有志十一名連名 立候補以來比較的難戦を傳へられてゐる中立青沼錫太郎氏の左記の如き連名の推薦状を發した。

### 一日十回以上上り 火花を散らした言論戦

大体は終熄のかたち 石城郡に於ける縣會議員選挙の論戦、同上古川候補が上野野、言論戦は二三候補を除いては入道野で、民政黨候補が菊田の言論戦は二三日を以て打ち切り、各方面で夫々演説會の第一聲を發し、一兩日は専ら高等秘揚が好問村で、勢農黨の山代候補を廻すであらうと見られて、補が小野田で夫々蓋明けした、半月余り、今その戦跡を辿つて、翌十一日には政友鈴木三郎氏、中野田子候補のそれ、皮切三日には民政野崎滿藏氏が豊間

### 小名濱商港 實現の曙光を認め

けふ内務省技師實査 内務省土木局港灣關係の第二技師事務官肥田木乙彦氏は小名濱商港計劃に對する技術上の諸材料調査のため二十一日來縣々、應で中隈土木課長並に港灣關係技術者と種々打合せの上二十二日朝小名濱に來たが詳細に視察の上二十三日に歸京する等である、縣から港灣主任技師が案内のため來郡したが同技師の實査は愈々小名濱商港問題に曙光を齎したものと考へられてゐる。

### 小川鐵相通過

▲投票場の準備 平町 鐵道大臣一行七名は二十三日午前三時三十分北海道視察に向ふため平町を通過する。

#### 廣瀨氏の 應援演説

石城郡縣會議員候補者日勞黨の廣瀨氏は二十日午後三時から赤井第二小學校、同六時から四倉小學校で夫々政見發表演説會を開いたが二十二日以後の演説日割左の如し。

二十日午後四時赤井、同六時好問元山好樂館、二十三日午後六時平商業學校、二十四日午後六時内郷村第三小學校、向は廿三日から二十四日にかけては麻生久、石川リ、松田源藏各特派員應援のため來郡する。

### 青沼錫太郎氏十七回

▲勢農黨 山代吉宗氏十三回 ▲日勞黨 廣瀨貞氏十一回 ▲合計二百二十回の多きに達してゐるに加へ植田、平兩黨管内に於ける

### 四倉商市場成績

石城販賣利用組合四倉商市場九月二十一日の取引數左の如し。 總買數四百七十六貫六百十匁、最高六十三圓五十匁、最低三十五圓、平均五十七圓二十匁、件數九十八。

### 平驛に浴場

平驛では 縣員慰安の目的で機關庫同様に慰安浴場の設置方を昨年末から鐵道當局に上申中であつたがこの程愈々豫算二千五百圓を以て平驛構内治療所附近に設置する事に決定近く具體的に着手する。

### 鯉漁は好成績

縣水産試験場の警城丸は去る十八日限り本年の鯉漁を打ち切つたが近年になく豊漁で尾數は試験場創設以來の多數であつた。魚價が八掛から十掛といふ安値であつたため漁獲金高は一萬三千圓に過ぎない。

### 荷票を變造

平町村木炭商高田衛は白炭大俵十貫匁の検査證を破棄し木炭荷票の變造を行つた事發覺木炭同業組合から佐藤検査員出張同業組合法違反として警察署と協力取調中であるがこの種の不正行為に對しては容赦なく摘發處罰する方針である。

### 貯炭激増

警城炭礦 内郷村警城炭礦では淺野社長が毎週土曜日から日曜にかけて來山しては職員抗夫一同を激勵して貯炭あり八月は出炭八萬トンを超へ九月に入つてからは成

### 晩秋蠶出廻る

石城 地方の夏秋蠶は既に最盛期を過ぎ廿日頃からそろそろ晩秋蠶がポツポツと出廻り初めた。

### 秋刀魚探査に 磐城丸出動す

#### 大型漁船は出漁準備中

石城の各濱にわたる大型發動機町富岡自動車部主任栗山氏は大漁船は宮城、岩手の沖合に鯉漁に氏の手を費して自ら千三十に出動中であつたが海温低下し余圍を投じて新に自動車を買取つて不漁となつたため数日前に磐城丸と共に青森に向け出動しれども歸港目下秋刀魚流網その他尚ほ平、下の關間も長驅して長秋刀魚は岩手縣沖合二百カイリ宛をなし斯界に貢献せんと意氣の海區まで南下したとの報あり込んでゐる。

### 推薦廣告

有権者の希望すべき  
縣會議員候補者として

### 山崎吉平君を推薦す

#### 極力其の當選を期す

推薦者 平町久保町  
永山和平

いづれも活気づき縣水産試験場の磐城丸は廿二日小名濱出帆秋刀魚探査に出動する。

### 櫛田氏に

#### 自動車で随ふ

栗山氏の計劃  
入遠野村櫛田彦之進氏の長途騎乗は愈々二十八日郷里を出發同日は平町に一泊、二十九日壯舉の途に上ることになるが、湯本

### 平町の野球

#### リーグ戦日割

平町野球聯盟による今秋磐中グランドに行はれるリーグ戦の日割は次の如く決定した。  
中學對遞友 廿四日午前九時  
遞友對中學 同 正午  
田町對中學 同 午後三時  
鐵道對中學 二十五日正午  
田町對鐵道 同 正午  
遞友對鐵道 九日午前十時  
(以上第一回戦)  
中學對遞友 同 午後一時

鐵道對遞友 十六日午前十時  
中學對田町 同 午後一時  
中學對鐵道 廿三日午前九時  
田町對遞友 同 正午  
鐵道對田町 同 三時  
(以上第二回戦)

### 磐中生チブス

長橋町磐城中學校生徒大平尚行(一六)は真正腸チブスと判明し隔離病舎に收容する。共に校舎の大消毒を行つた。

### 平窪諏訪社祭典

窪村では村社諏訪神社の具格祭典と二十二日執行されるが管であるが手踊、浪花節、角力等の余興がある。

### 養蠶活動寫眞

養蠶同業組合では左記日割により養蠶改良宣傳等の活動寫眞會を開催する筈である。  
▲十月十四日午後六時磐崎村  
▲同十一日山田村▲同十二日勿來町

### 原齒科醫院

平町土橋通り  
電話三一三番

### 無錢飲食の 前科者捕はる

西白河郡川崎村生れ當時住所不定前科三犯深谷袈裟好(二三)は過般福島刑務所を出獄したばかりであるが、其後平地方に入り來り各所で無錢飲食をなし或は名士を脅迫し又は選舉事務所等に近づてゴロつてゐたが二十一日夜平署に捕はれ目下取調べ中である。

### 良品廉賣に勝る商略なし!!!

磐城セメント會社特約店  
和洋銅鐵  
釜屋商店  
金物問屋  
磐城平 電話九一三九番

### かまぼこ製造始開

かまぼこの製造は毎度の御引立に御禮申上ります。愈々かまぼこの時季に入りまして本年は鮮魚類多く特に新鮮なる原料と風味に注意致しましてお機嫌を伺ひます。大漁は獨りかまぼこの材料でなく鯉の大漁は申上る迄もなく茲に當店の生命たる鯉節も近年に無き大量にて品質の優良、價格の低廉にこれ又近年に無く何卒兩者の御需要を御進め申上ります。

### かまぼこ製造

平町二丁目  
藤市蒲鋒店  
電話三〇五番

### 故尾上松之助追悼大興行

噫……劇壇の巨人松之助の逝去して早や一週年、氏の映畫劇壇に奮闘せし眞の藝術を追慕し茲に全國日活映畫上映館一齊に氏の映畫を上映す。當館は氏の遺せる千古不朽の寶玉篇々御熱望に依り再度上映す。  
◎大日活特作本邦映畫界の驚異  
荒木又右衛門 全十七卷  
松之助一生一代の大作 出場人員三千余名  
◎松竹現代劇部大作  
母性愛 子と母 全七卷  
藤田陽子主演、八雲恵美子、小櫻葉子助演  
當る廿二日公開 學生テ一平館

### 磐城無盡商會

本店植田町本丁 支店平町中丁

### 平町病院案内

外科一般 婦人科 耳鼻咽喉科	赤心堂病院 田町(電話四七五番)
眼科	吉田眼科醫院 紺屋町(電話六八番)
内科、外科 淋病、梅毒科	藤沼醫院 紺屋町(電話五〇七番)
内科、外科 婦人科小兒科 花柳病科	磐城病院 田町本通り(電話一四四番)
耳鼻咽喉科	大和田醫院 南町(電話一七〇番)
齒科	原齒科醫院 土橋通り(電話三一三番)
内科、外科 耳鼻咽喉科 花柳病科	高久病院 田町(電話一三五番)
内科、腸病科 梅毒病科 淋病科	松村病院 南町(電話一〇七番)
外科	上田外科醫院 南町(電話二二九番)